

令和元年 7 月 10 日

当座勘定取引先 御中

日 本 銀 行

「日本銀行が行う現金の受払に関する細則（勘定店における現金受払用）」の一部改正について

今般、取引の利便性向上の観点から、額面1,000 円以上の記念貨における最低受入枚数を引き下げることとしました。これに伴い、「日本銀行が行う現金の受払に関する細則（勘定店における現金受払用）」の一部を別紙のとおり改正し、令和元年7月16日から実施することとしましたので通知します。

なお、改正後の「日本銀行が行う現金の受払に関する細則（勘定店における現金受払用）」につきましては、上記実施日に、本ホームページに掲載します。

以 上

「日本銀行が行う現金の受払に関する細則（勘定店における現金受払用）」中一部改正

- 2. (1) ②を横線のとおり改める。

2. 現金の受入

(1) 受入単位

② 記念貨^(注)

下表に示す定量を取り纏めた大袋単位とします。ただし、1,000円以上の記念貨については、定量未満であっても、下表の最低受入枚数以上の枚数を取り纏めた大袋単位での受入を行います。

| | 貨種 | 素材・量目 | 定量 | 最低受入枚数 |
|-----|--------|-------------------|--------|-----------------|
| (イ) | 10万円 | 金・30.0g | 300枚 | 10 枚 |
| (ロ) | | 金・20.0g | 500枚 | 10 枚 |
| (ハ) | 5万円 | 金・18.0g | 500枚 | 10 枚 |
| (ニ) | 1万円 | 金・20.0g | 500枚 | 10 枚 |
| (ホ) | | 金・15.6g | 500枚 | 10 枚 |
| (ヘ) | | 銀・20.0g | 500枚 | 10 枚 |
| (ト) | 5,000円 | 純銀・15.0g | 500枚 | 10 枚 |
| (チ) | | 銀合金・15.0g | 1,000枚 | 10 枚 |
| (リ) | 1,000円 | 銀・20.0g | 1,000枚 | 10 枚 |
| (ヌ) | | 銀・31.1g | 500枚 | 10 枚 |
| (ル) | | 銀合金・31.1g | 500枚 | 10 枚 |
| (7) | 500円 | 銀・15.6g | 1,000枚 | — |
| (7) | | 白銅・13.0g | 1,000枚 | — |
| (カ) | | ニッケル黄銅・7.0g | 2,000枚 | — |
| (コ) | | ニッケル黄銅、白銅及び銅・7.1g | 2,000枚 | — |
| (ク) | 100円 | 白銅・12.0g | 1,500枚 | — |
| (ケ) | | 白銅・9.0g | 2,000枚 | — |
| (ク) | | 白銅及び銅・4.8g | 4,000枚 | — |

(注) 1. } 略（不変）
2. }